

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名

成田市立加良部小学校

1 学校教育目標

〈夢をもち 未来を拓く〉
確かな学力を身に付け 心豊かで 健康な子どもを育てる

2 本年度の重点化された具体的な目標

- (1) 思考し、判断し、表現する力を育てる学習指導の充実
- (2) 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実
- (3) たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実
- (4) 個々の実態や状況に応じた教育的支援の充実
- (5) 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
学習指導	〈教職員〉 子どもが「わかる、できる」学習指導の充実において、学年・学級・教科等の教育活動について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 21% 大体できている 63%	B	対話的学びを重視し、お互いの考えを共有したり、自分の考えを説明したりする授業を行い、子どもたちの思考力・表現力を高めることに努めた。また、教職員一人一人が課題をもって研修に取り組み、授業力の向上に努めた。自信をもって子どもたちへ学習指導ができるよう研修内容の一層の充実を図りたい。
	〈保護者〉 学校は、子どもをよく理解し、わかりやすい授業を行っている。	あてはまる 42% ややあてはまる 51%	A	
	学校は、子ども同士の学び合いや表現力の育成をめざした指導をしている。	あてはまる 42% ややあてはまる 52%	A	
生徒指導 道徳指導	〈教職員〉 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 11% 大体できている 84%	A	縦割り清掃を実施し、異学年交流活動をより充実させて思いやりの心を育むことができた。 各教室にあいさつに関する掲示物をはったり、生活委員を中心としたあいさつ運動を継続的に実施し、コミュニケーションの基本としてあいさつの励行に努めた。家庭と連携を図りながら基本的生活習慣の確立を推進していきたい。
	〈保護者〉 お子さんは、友達を思いやったり、よいところを認め合ったりしている。	あてはまる 54% ややあてはまる 44%	A	
	学校は、明るいあいさつができるよう指導している。	あてはまる 55% ややあてはまる 41%	A	
健康指導 安全指導	〈教職員〉 たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 32% 大体できている 58%	A	今年度は持久走の記録会を3回実施し、自分の設定した目標に向けて継続的に運動に取り組めるように努めてきた。他人と比較するのではなく、自分自身の体力向上と目標達成を目指すことで体力向上を推進していきたい。 定期的な安全点検及び老朽化した施設の修繕を行い、安全・安心な学校を目指していきたい。
	〈保護者〉 お子さんは、健康状態に気を付けたり、運動や外遊びをしたりしている。	あてはまる 50% ややあてはまる 42%	A	
	学校の校舎内外は整理整頓され、安全で安心して学ぶ環境づくりをしている。	あてはまる 50% ややあてはまる 45%	A	
特別支援教育	〈教職員〉 個々の実態に応じた特別支援教育の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 21% 大体できている 63%	B	一人一人の子どもたちの実態を把握し、学校全体で情報を共有してきめ細かな支援を広げられるように努めてきた。合理的配慮を含め、特別支援教育のさらなる充実を図ってきたい。また、保護者や地域への特別支援教育への理解をさらに広げていきたい。
	〈保護者〉 学校は、子どもの実態を適切に把握し、個に応じて教育活動を支援している。	あてはまる 39% ややあてはまる 49%	B	
保護者・地域との連携 働き方改革	〈教職員〉 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 15% 大体できている 60%	B	授業や、安全指導、学校行事等で、外部人材を活用したり、関係団体の協力を仰いだりして、教育活動の充実を図ってきた。来年度は地域コーディネーターと協力してさらなる地域人材の活用を目指していきたい。 教職員がゆとりをもって子どもたちと向き合うことができるよう、校務の精選をさらに進めていきたい。
	〈保護者〉 学校は、地域の自然や施設、人との関わり合いを取り入れた学習を進めている。	あてはまる 42% ややあてはまる 49%	A	
	学校は、家庭・PTA・地域と連携し、地域全体で子どもを育てようとしている。	あてはまる 40% ややあてはまる 51%	A	

4 自己評価の結果の分析

- 学校評価に係る保護者アンケートでは、「あてはまる」「ややあてはまる」との回答を「肯定的な回答」と捉えている。教職員による自己評価も含め、「取組状況」については、肯定的な回答の割合が90%以上の場合に「A」評価としている。
- 保護者アンケートの中で、学校の取組を評価していただく11の設問すべてにおいて、肯定的な回答の割合が88%から96%の間であった。各分野における学校の取組は一定の評価をいただいたものとする。
- 一方で、10%を超える方から不十分だとする回答があった設問もある。特に「教育相談」「特別支援」「情報発信」の項目においては、学校として一層の工夫・改善への具体的手立てが必要である。
- 保護者アンケートを「すぐーる」で回答できるようにしたことでの回収率が82%まであげることができたのは成果である。
- 「A」か「B」かという視点だけでなく、肯定的な回答ではない割合を如何に下げ、「ややあてはまる」を如何に「あてはまる」に押し上げていくか、という視点をもたなければならない。